

発行責任者 上田邦芳

編集者 北井悟司

連合奈良南和地域協議会 〒634-0061 橿原市大久保町 457-1 大松ビル 504 TEL0744-47-3905 FAX0744-47-2305

ポストコロナ社会 発想の転換を！！

昨年12月以降、新型ウイルス感染症が中国湖北省武漢市を中心に発生し、短期間で全世界に広がり、日本を含む181の国と地域に感染が拡大し、8月に予定されていた東京オリンピックも一年の延期が決定しました。国内的には、1月15日に武漢に渡航歴のある患者が1例目として発見され、感染拡大に対し政府は、3月2日からの全国の小・中学校、高校、特別支援学校の休校を要請しました。弱い立場の子どもたちにしわ寄せし、重要とされる子ども教育を真っ先に『全国一斉』に休止したことは、多くの批判が出されています。地方自治体の教育行政が「右へ倣え」では、教育の主体と、地方分権の内実が問われると思います。

その後、緊急事態宣言などにより、イベントや集会の自粛、補償なき休業要請など国民生活に大きな打撃を受け、多方面で弊害が生じて、今後一層深刻になることからすれば、国の脆弱性を露呈し、危機的な状況に陥ることも想定できます。

雇用情勢の流動化に伴う労働者賃金の引き下げと格差拡大による生活苦の蔓延。『何時でも、何処でも、誰でも』が享受できる医療・介護・福祉分野での削減、縮小による制度崩壊の危機。過疎と過密、一極集中、少子高齢化、インバウンド頼みの地域活性化等々、この国の「劣化」が進行する中での、コロナ禍により、今後より「劣化」が進行することは必至です。

政府の対応は、『アベノマスク』に象徴されるように、的外れな対応であり、危機的状況に対応できず力不足を露呈しています。第2波、第3波のコロナウイルスの襲来に備えなければなりません、その上でポストコロナ社会を創造してい

かなければなりません。三密を避ける、手洗いを頻繁にする、マスクを着用するというようなガイドライ的対応だけでなく、人と人、人と空間、人と地域、人と働き方、人と生活など様々な場面で暮らしの質やスタンダードが大きく変容します。かつて誰も経験したことのない新しい事態に直面する中、個人での対応は限界があり、労働組合や共同体などの組織が、柔軟で強かな発想が求められています。

連合奈良

YouTubeはじめました！



コロナ禍、生活等の 御相談はライフサポート センター（LSC）へ

LSCは、県内で奈良と南和の2か所で『生活何でも無料相談』を行っています。先月の南和LSCにはコロナ関係の相談が9件ありました。生活や商売について相談や、持続可能給付金の申請関係、各自治体での支援相談等々の相談が寄せられています。折角支援策や制度を使わず、苦しんでいる人もまだまだいます。

困った時は一人で悩まずLSCに相談を！！



困った時には、まずお電話を。

Life Support Center Nara

ライフサポートセンター奈良

☎ 0742-33-1500

Life Support Center Nanwa

ライフサポートセンター南和

☎ 0744-24-7830